

ラシッサ IIXIL 可動間仕切り引戸上吊方式 取付け説明書



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 警告 …施工を誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告

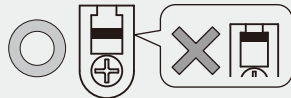


下記機器をお使いの方は操作をしないでください。
医療機器誤作動のおそれがあります。
(1) 体内埋込型機器
(2) 生命維持用機器
(3) 装着型心電計等

⚠ 注意



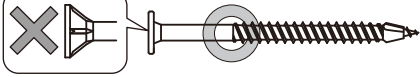
●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き of 長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

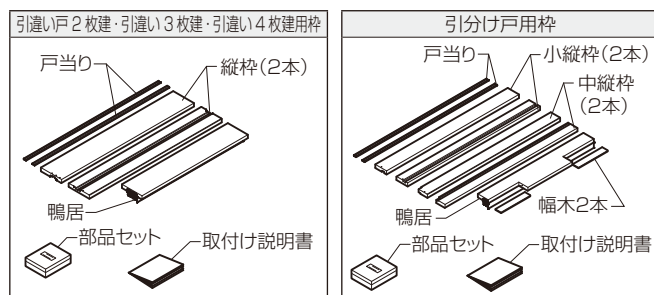
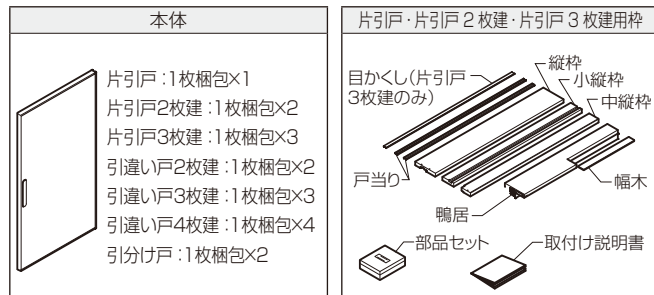
No.	チェック内容	
1	吊車を枠組立て時にレールに正しい向きで入れましたか？	☐
2	枠取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか？  (ソフトモーション仕様のみ)	☐
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？	☐



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

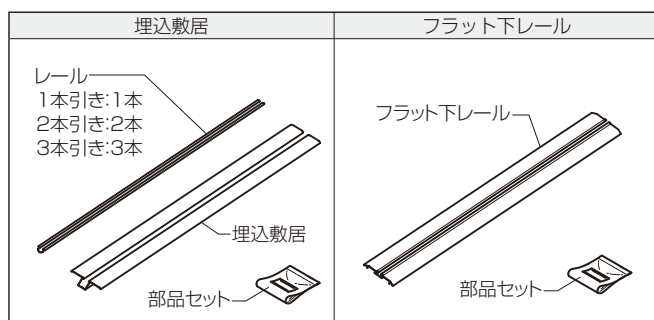
■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



■枠セット明細

部材名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
鴨居	1	1	1	1	1	1	1
縦枠	1	1	1	2	2	2	—
中縦枠	1	1	1	—	—	—	2
小縦枠	1	1	1	—	—	—	2
幅木	1	1	1	—	—	—	2
戸当り	2	3	4	4	6	4	2
目かくし	—	—	1	—	—	—	—
部品セット	1	1	1	1	1	1	1



■埋込みガイドピンセット明細



部品名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
8個入セット	—	—	—	—	—	—	1
10個入セット	—	1	—	—	—	—	—
16個入セット	—	—	—	—	—	1	—
18個入セット	—	—	1	—	1	—	—

■開口部の作り方

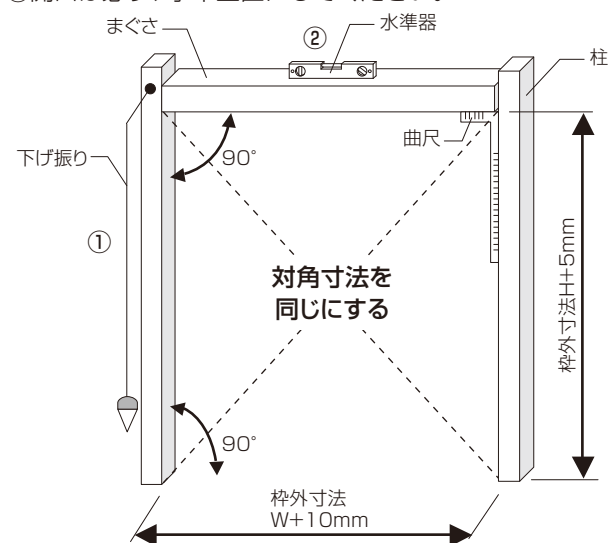
開口施工上のお願

- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下りとなるので、本体40kg/枚の強度を確保してください。
- 片引戸の小壁は枠を取付けてから施工してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

同梱のねじを使用しないと開閉不良になります。
軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- ①開口は、枠外寸法に対して高さ：+5mm、幅：+10mmとしてください。
- ②開口は必ず、水平垂直にしてください。



(単位: mm)

■対応壁厚について

ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC95	64~75
	NC115	76~100
	NC156	116~130
	NC171	131~145
	NC180	146~160
	NC210	170~190

ケーシング付	品種	足長さ	対応壁厚
	薄壁用	8	111~121
		14	122~133
		19	134~141
		25	142~152
	厚壁用	8	142~148
		14	149~160
		19	161~170
		25	171~182
	片引戸2枚建	8	157~167
		14	168~179
		19	180~187
		25	188~198
	片引戸3枚建	8	191~201
		14	202~213
		19	214~221
		25	222~232
	引違い戸3枚建	8	150~160
		14	161~172
		19	173~180
		25	181~191

2 床の張り方

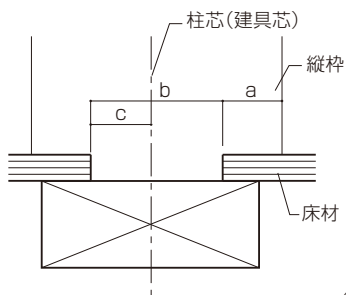
開口施工上のお願い

- 埋込ガイドピン仕様は開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)

■床見切り／埋込敷居

- ①床材を、下記寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。

●片引戸



床見切り

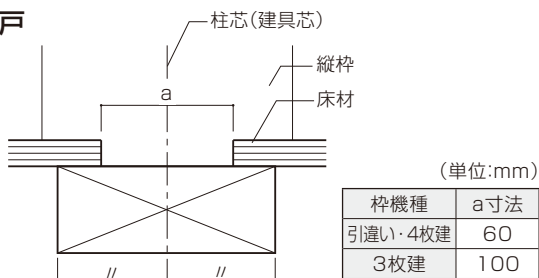
(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸 NC95	17.5	30	0
片引戸 NC115	27.5	30	0
片引戸・引分け戸 NC156	48	30	0
片引戸・引分け戸 NC171	55.5	30	0
片引戸・引分け戸 NC180	70	30	10

埋込敷居

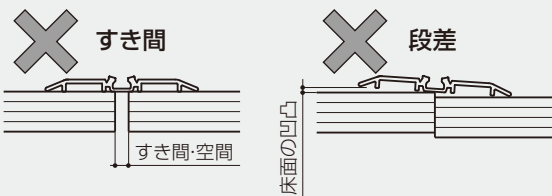
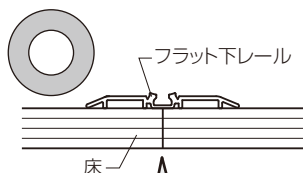
枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸2枚建 NC156	28	60	10
片引戸2枚建 NC171	43.5	60	18
片引戸2枚建 NC180	32	60	2
片引戸3枚建 NC210	22	100	17
片引戸・引分け戸 C付薄壁	27.5	30	0
片引戸・引分け戸 C付厚壁	51	30	10
片引戸2枚建 C付	33.5	60	13
片引戸3枚建 C付	27.5	100	30

●引違い戸



■ガイドピン／フラットレール／埋込ガイドピン

- ①床材は段差なく、すき間なく張ってください。



※作動不良の原因となります。

3 枠用部品セット

枠用部品セット		片引戸	片引戸 2枚建 引分け	片引戸 3枚建
枠組立て用 皿小ねじM4×50		4本	4本	4本
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		12本	18本	31本
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50		6本	6本	6本
固定ガイドピンセット (ねじ同梱)		1個	—	—
吊車		1個	2個	3個
吊車(ソフトモーション付)		1個	2個	3個
ソフトモーション 受け金具		2個	4個	6個
穴埋めシールシート (NC95/115のみ)		1枚	—	—

枠用部品セット		引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建
枠組立て用 皿小ねじM4×50		4本	4本	4本
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		18本	28本	28本
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50		6本	6本	6本
固定ガイドピンセット (ねじ同梱)		1個	—	—
吊車		2個	3個	4個
吊車(ソフトモーション付)		2個	3個	4個
ソフトモーション 受け金具		4個	6個	8個
穴埋めシールシート (NC95/115のみ)		1枚	—	—

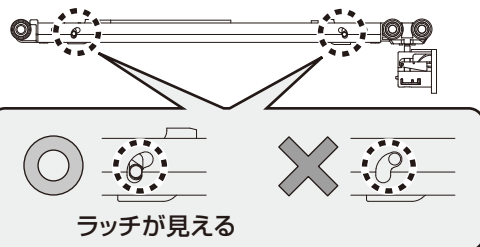
※接着剤、かくし釘は現場手配。

4 枠の組立て(吊車の挿入)

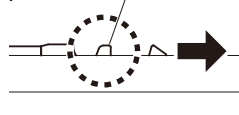
枠組立て上のお願ひ

- 施工は、製品脱落・枠の垂下がり・ゆがみとなるので同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるので、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- ソフトモーション付き吊車は作動不良になるので、正しい向きに入れてください。

●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)

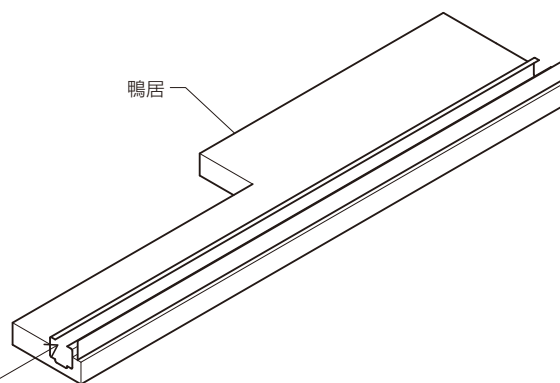


※ X の場合



ラッチを引っ張り
正常位置へ戻す。

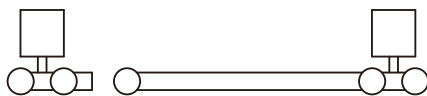
①鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してください。



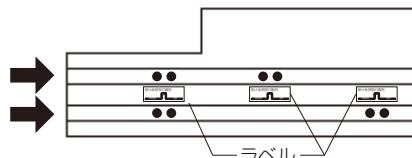
※図はL勝手

ソフトモーション仕様 吊車

●ソフトモーション仕様 吊車挿入向き



片引戸、2枚、3枚建

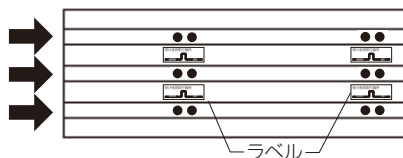


受け金具固定穴

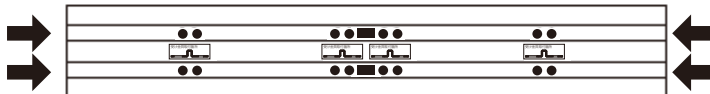
ラベル

受け金具取付箇所

引違い戸2枚、3枚建



引分け戸4枚建



引分け戸



※作業しやすいように鴨居レールは天地逆にしています。

図-1 枠の組立て(片引戸・引分け戸)

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。
※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ②NC95、115は組立てねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

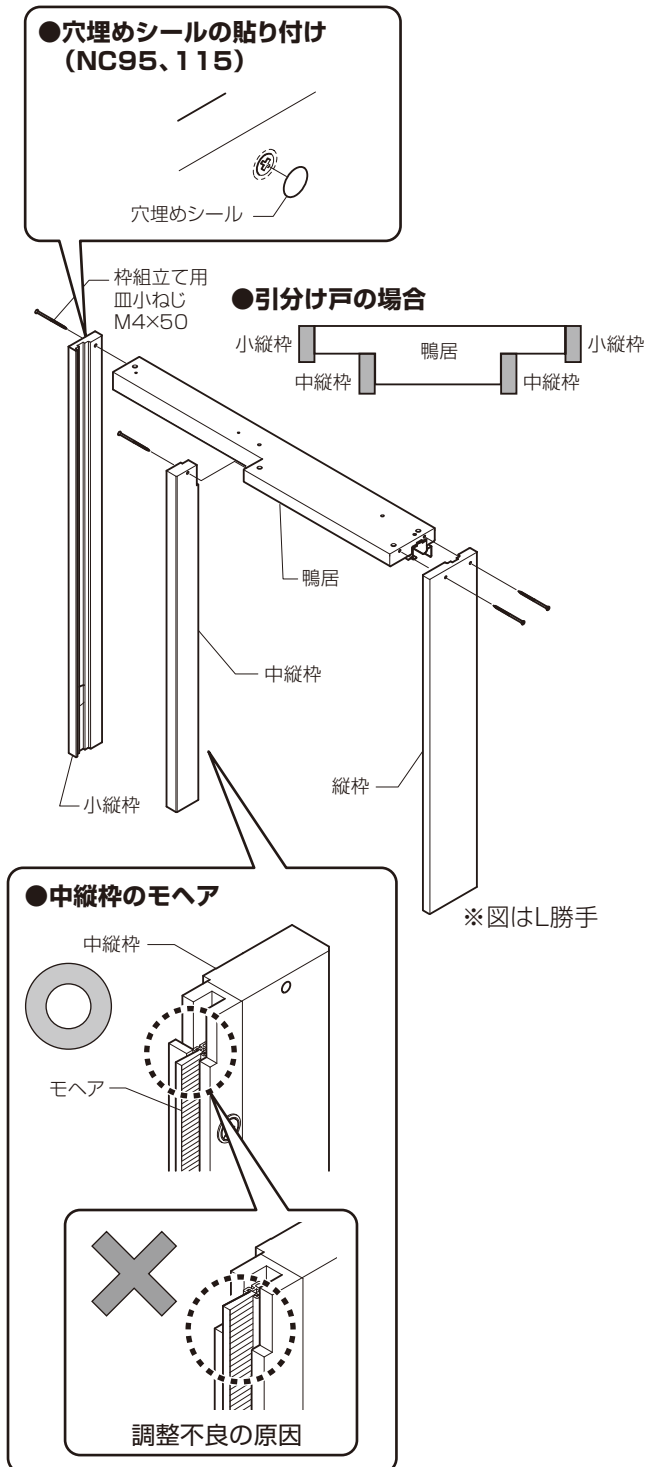
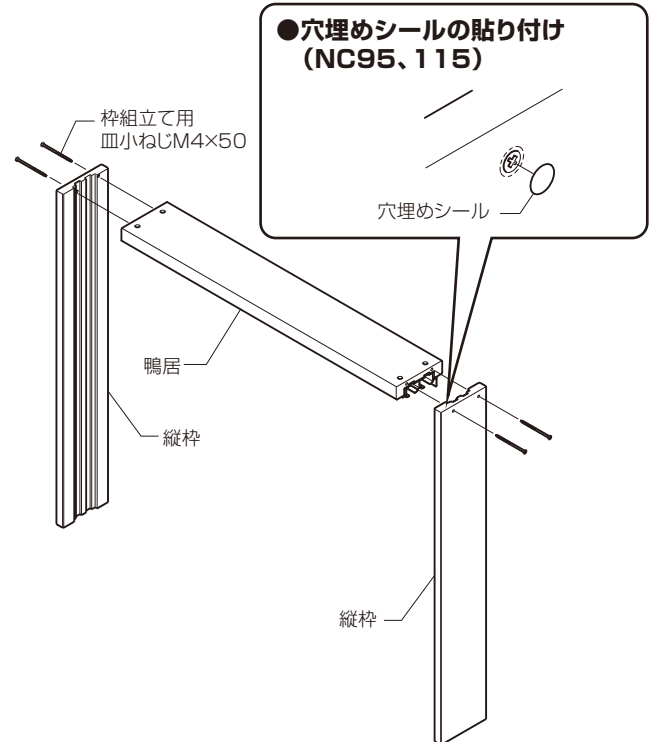


図-2 枠の組立て(引違い戸)

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。
※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ②NC95、115は組立てねじ部に穴埋めシールを張付けてください。



6 枠の取付け

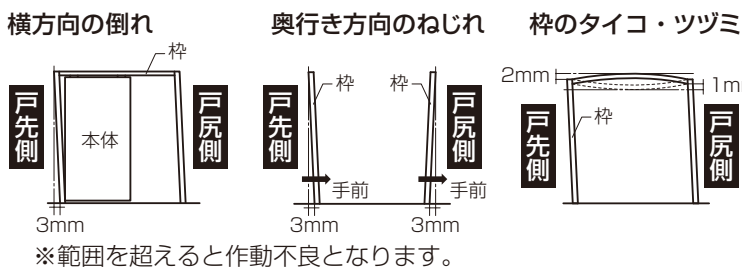
枠取付け上のお願ひ

- 製品脱落・開閉不良になるので、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
- 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- 本体作動不良になるので、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- 枠固定時、ソフトモーションを機能させるため、吊車は受け金具の中間に入れてください。
- 受け金具は緩み防止のため、鴨居固定後に固定してください。

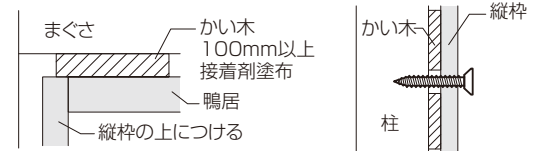
- ①枠と躯体の間にかい木をいれて縦枠、鴨居を指定のねじで固定してください。
※受け金具は、中間に吊車を入れて必ず最後に固定してください。
- ②中縦枠は、接着剤(※)を塗布して、かくし釘(※)で固定してください。床見切り／埋込敷居は、中縦枠位置ラベルに合わせてください。(部材取付はP 6、7参照)
- ③幅木は、裏面に接着剤(※)を塗布し、かくし釘(※)(約300mmピッチ)で固定してください。
※現場手配

●取付け精度について

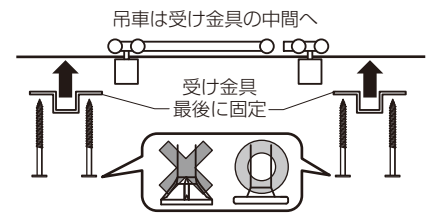
下図の範囲内で必ず取付けしてください。



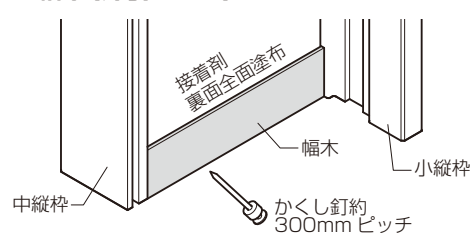
●かい木について



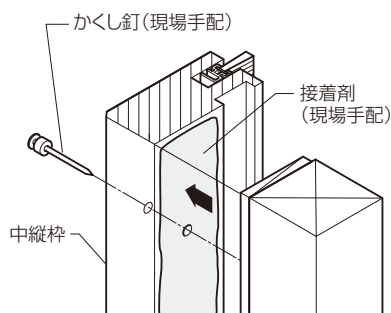
●鴨居の部品固定について



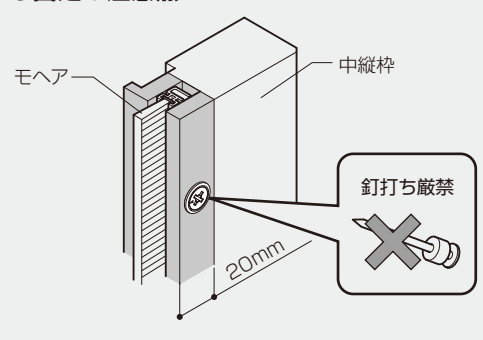
●幅木(片引きのみ)



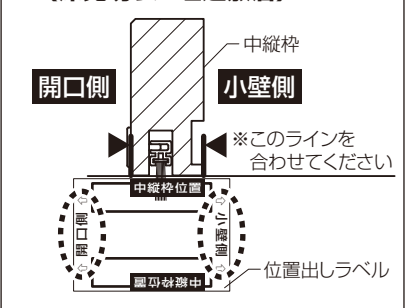
●中縦枠の固定(片引戸のみ)



●固定の注意点

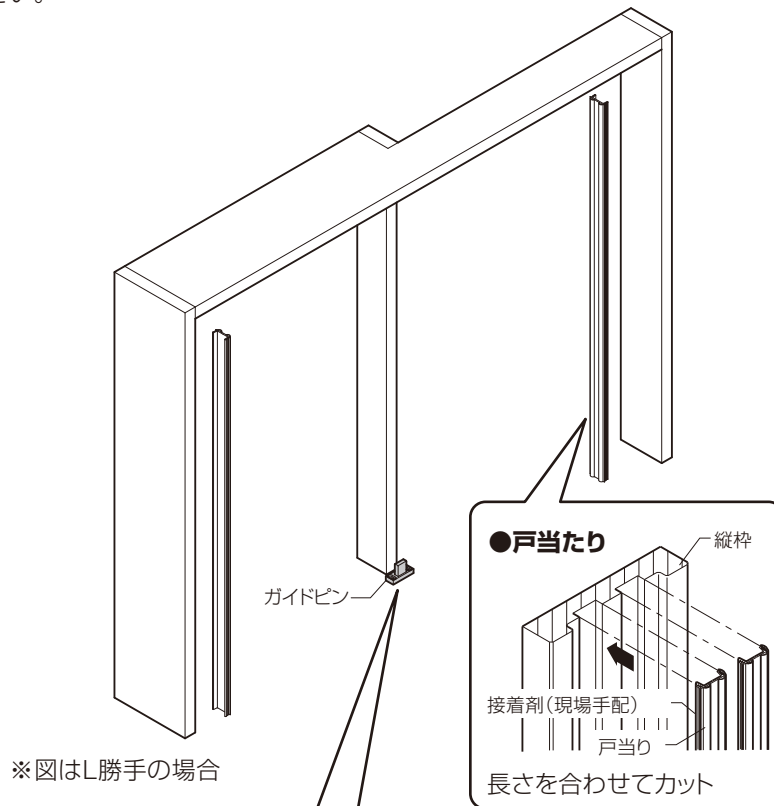


●固定位置(床見切り／埋込敷居)



7-1 床部の施工(ガイドピン)

- ①ガイドピンを床の指定の位置に固定してください。
- ②戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。

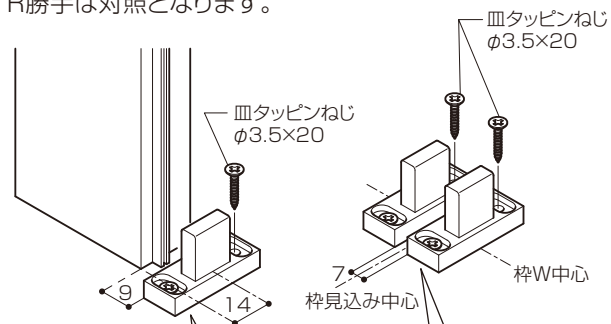


●ガイドピン固定位置

片引戸(L勝手)

R勝手は対照となります。

引違戸



凸印(ライン)の位置にねじ止めしてください。

7-2 床部の施工(埋込敷居)

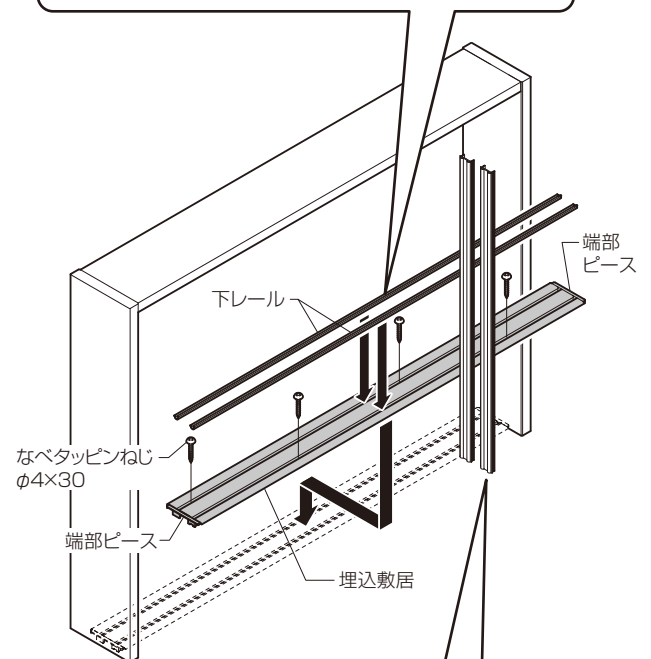
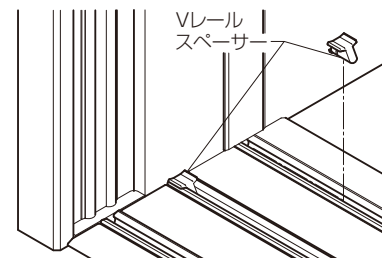
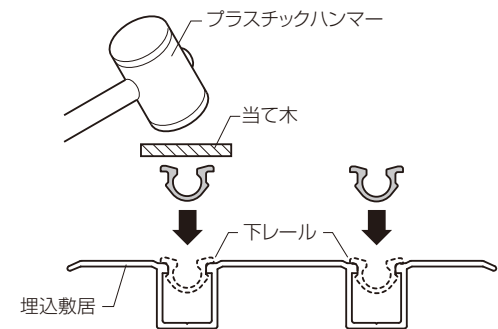
- ①戸じゃくりに端部ピースを合わせて、敷居を固定してください。
- ②下レールに当て木をあててプラハン等でたたき込んでください。
- ③戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。
- ④片引戸2、3枚の場合
縦枠の戸じゃくりのない部分にVレールスペーサーを入れてください。

■埋込敷居用部品セット

		片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建
鴨居取付用 なべタッピンねじφ4×30		5本	6本	8本
Vレールスペーサー		—	1個	2個
中縦枠スペーサー		使用しません		

		引違戸 2・3枚建	引違戸 4枚建	引分け
鴨居取付用 なべタッピンねじφ4×30		6本	9本	9本
中縦枠スペーサー		使用しません		

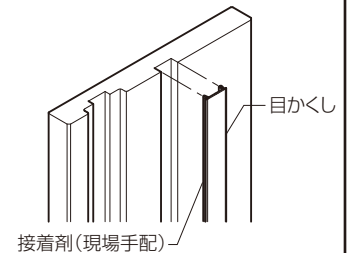
●下レールの取付け



●戸当たり



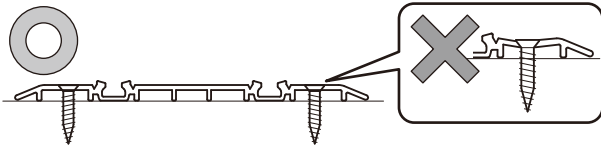
●目かくし(片引戸3枚建のみ)



7-3 床部の施工(フラットレール)

フラットレール施工上のお願い

- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



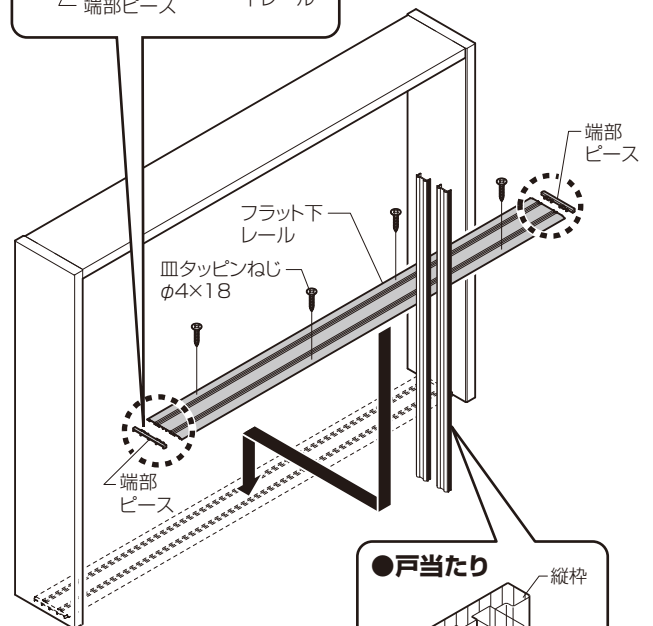
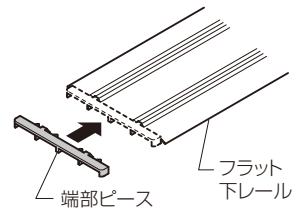
- ①端部ピースをフラット下レールの端部に差し込んでください。
- ②戸じゃくりに端部ピースを合わせて、レールを固定してください。
- ③戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。

■フラット下レール用部品セット

		片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引分け
フラット下レール取付け用 頭塗装皿タッピンねじ φ4×18		14本	18本	24本
フラット下レール 1本引き用端部ピース		2個	1個	2個
フラット下レール 2本引き用端部ピース		—	1個	—
フラット下レール 3本引き用端部ピース		—	—	1個
中縦枠スペーサー		使用しません		

		引違戸 2枚建	引違戸 3枚建	引違戸 4枚建
フラット下レール取付け用 頭塗装皿タッピンねじ φ4×18		14本	18本	24本
フラット下レール 2本引き用端部ピース		2個	—	2個
フラット下レール 3本引き用端部ピース		—	2個	—

●端部ピースの取付け



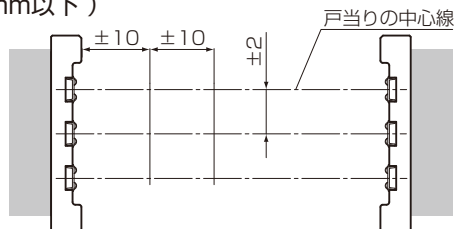
●戸当たり



7-4 床部の施工(埋め込みガイドピン)

埋め込みガイドピン施工上のお願い

- 開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
- 開閉時に本体がガイドピンから外れるので、()内の施工精度守ってください。(開閉方向: $\pm 10\text{mm}$ 以下、面方向: $\pm 2\text{mm}$ 以下)



- 開閉不良となるので、ガイドピン用の加工穴は垂直にして、バリ、切粉を取除いてください。
- ガイドピンベースの取付けは、破損するので直接たたかず、必ずあて木をしてください。

●埋め込みガイドピンセット明細

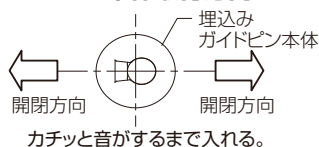


部品名称	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
8個入セット	—	—	—	—	—	—	1
10個入セット	—	1	—	—	—	—	—
16個入セット	—	—	—	—	—	1	—
18個入セット	—	—	1	—	1	—	—

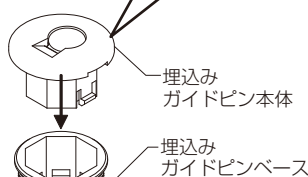
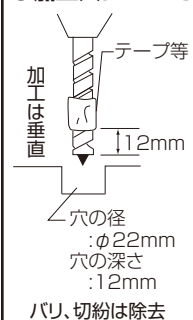
- ①埋め込みガイドピン配置図を参考に床に穴あけの位置だしをしてください。
- ② $\phi 22\text{mm}$ 深さ12mmの穴をあけてください。
- ③加工穴にガイドピンベースの溝を開閉方向に合わせてはめ込んでください。
- ④ガイドピン本体を下図の向きにカチッと音がするまで入れてください。

※本体の吊込み後位置調整を行います。

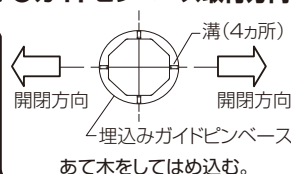
●ガイドピン本体取付方向



●加工穴について



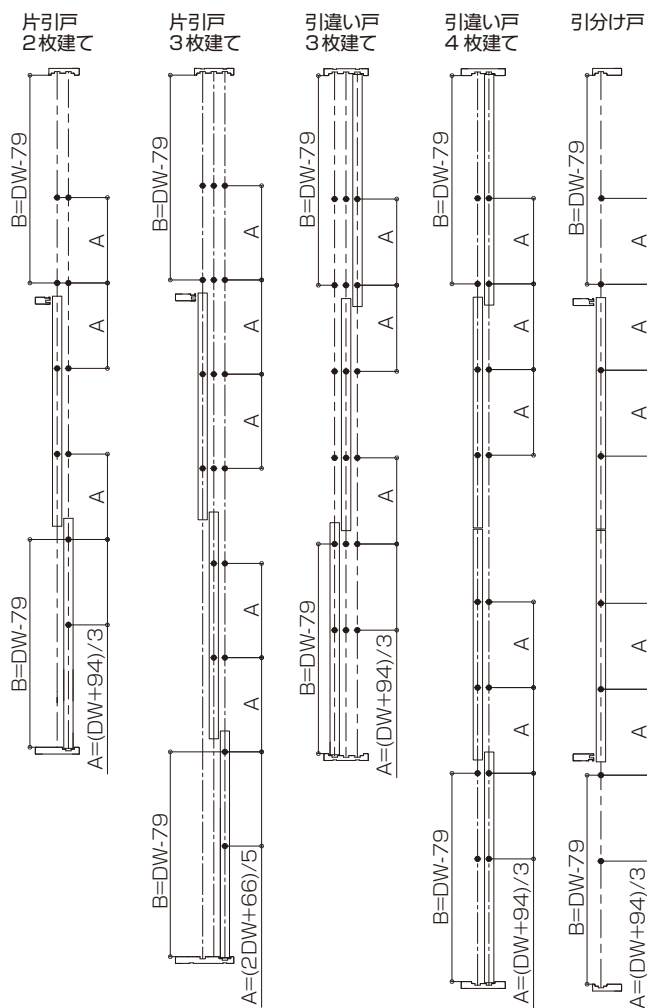
●ガイドピンベース取付方向



7-5 埋め込みガイドピン施工位置

名称	A	B	DW
片引戸2枚建	303 (DW+94)/3	737 DW-79	816
片引戸3枚建	339 (2DW+66)/5	737 DW-79	816
引違い戸3枚建	303 (DW+94)/3	737 DW-79	816
引違い戸4枚建	303 (DW+94)/3	737 DW-79	816
引分け戸	303 (DW+94)/3	737 DW-79	816

●埋め込みガイドピン配置図

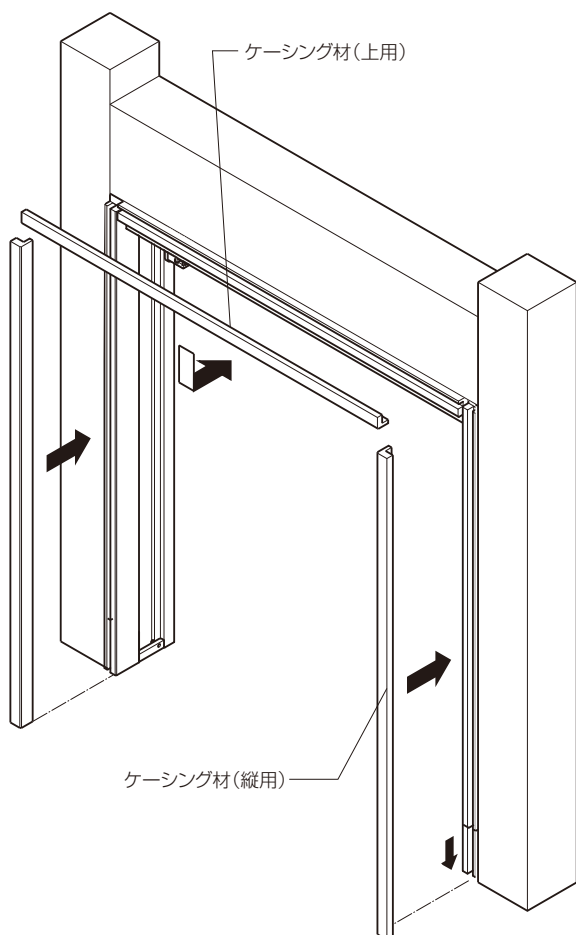


8 ケーシングの取付け

ケーシング取付上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



9-1 本体の吊り込み(フラットレール、埋込敷居仕様)

▲ 注 意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



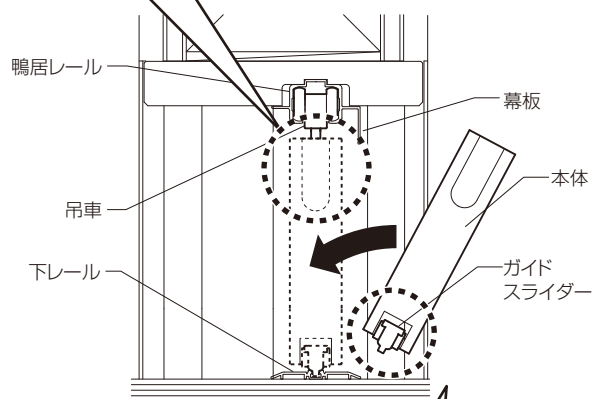
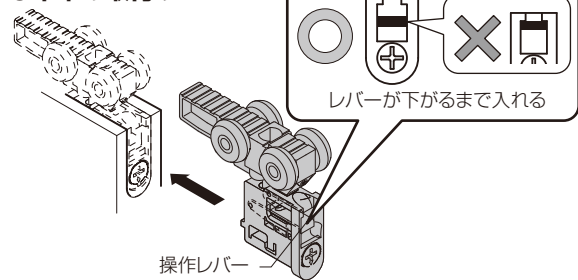
本体吊り込み上のお願ひ

●開閉不具合になるのでレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



- ①埋込敷居の場合：本体のガイドスライダーを一旦外してください。高さ調整のスペーサーを入れて再度取付けしてください。
- ②本体を下レールにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで入れ込んでください。

●吊車の取付け



●埋込敷居仕様の場合

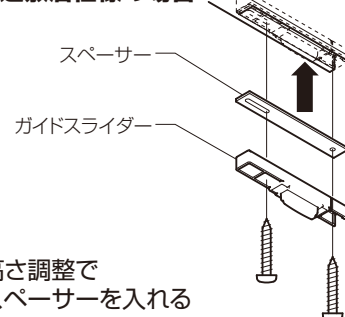
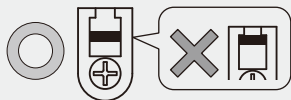


図-2 本体の吊り込み(埋込みガイドピン仕様)

▲ 注 意



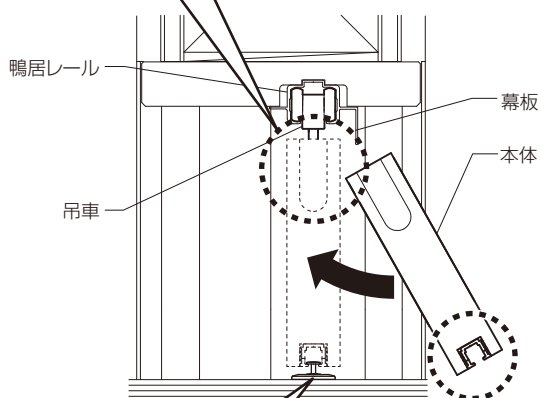
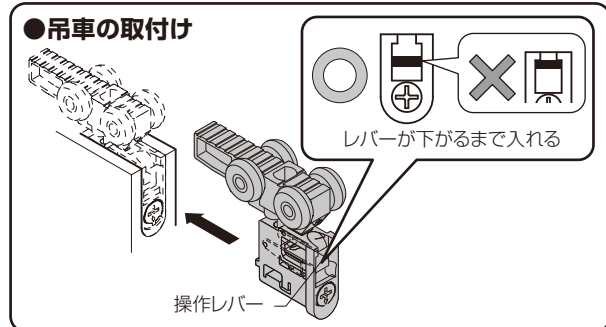
●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



- ①本体に吊車を最後まで入れ込んでください。
- ②埋込みガイドピンが本体中心から±2mm以内か確認してください。

範囲を超えている場合は調整が必要です。(P13参照)

●吊車の取付け



●埋込みガイドピンの位置確認

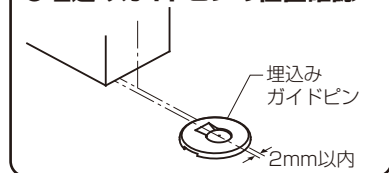
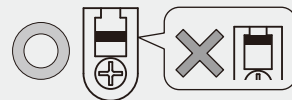


図-3 本体の吊り込み(ガイドピン、床見切り仕様)

▲ 注 意

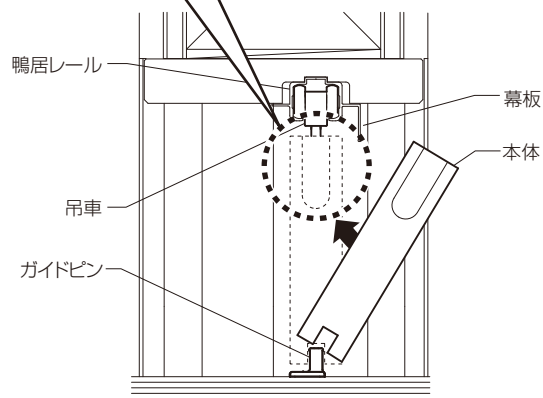
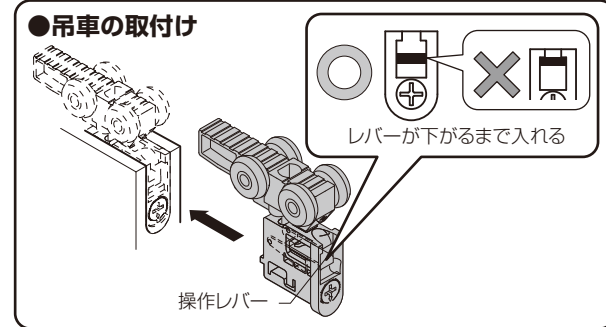


●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



- ①本体をガイドピンにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで押し込んでください。

●吊車の取付け



④本体への部品付け(吊り込み後)

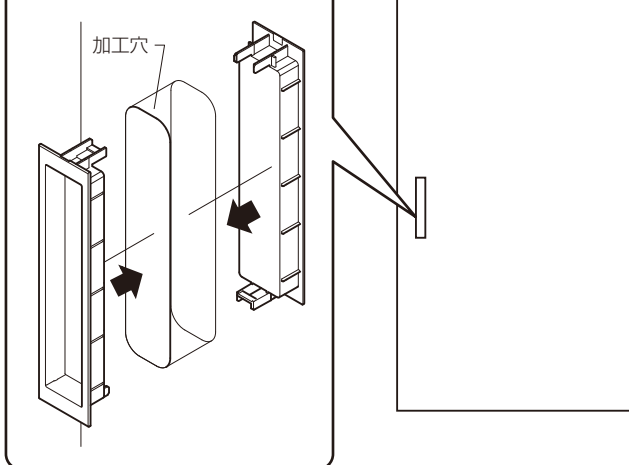
■引手の取付け

- ①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売り)

名称	入数
引手	2個

●引手の取付け



■召し合せパッキンの取付け(4枚建て、引分けの場合)

- ①必ず本体建付け調整後に作業してください。
- ②貼付け面のホコリ、汚れ、油分を取除いてください。
- ③パッキン裏面のシートをはがし、下図のように約5kg程度の力で貼付けてください。
- ④パッキンは長めなので、現場でカットしてください。

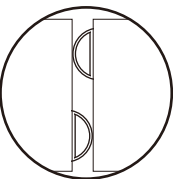
■召合わせパッキンセット(別売り)

名称	入数
召合わせパッキン	2本

●召し合せパッキンの取付け

建付け調整後端部より
2mmに貼付け

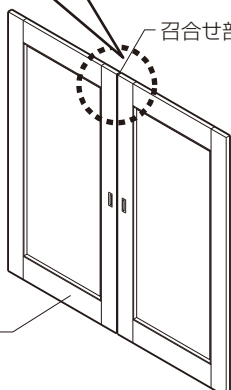
召合せ
パッキン



※貼付け面のホコリ、
汚れ、油分を除去

召合せ部

引違い4枚建て
引分け用本体



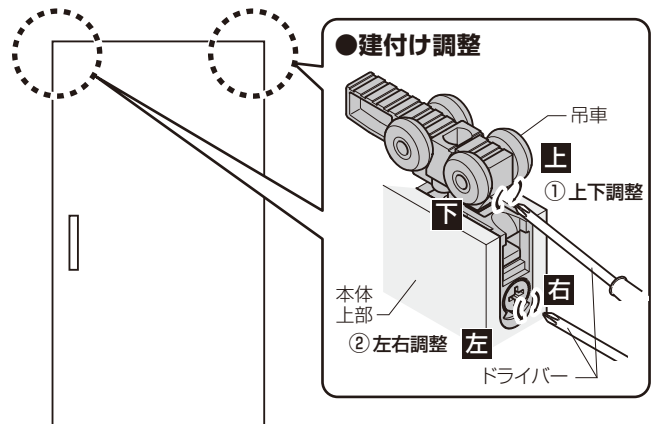
⑤本体側の調整について

本体調整上のご願い

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部のはずれ、引戸下部のこすれ)

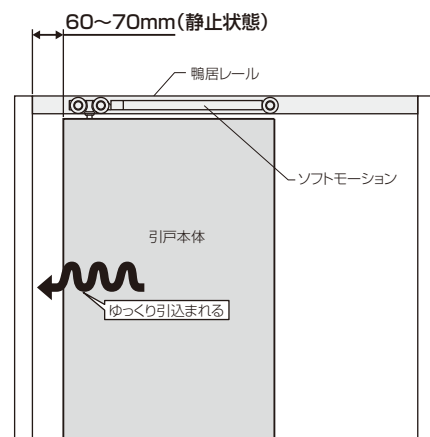
●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



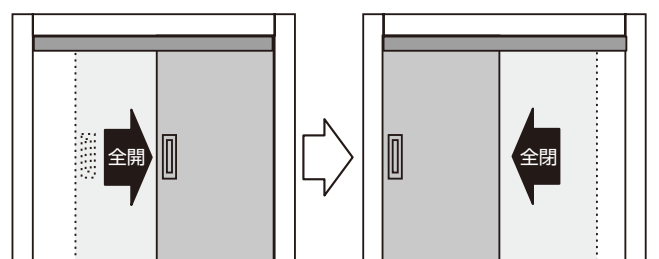
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60～70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



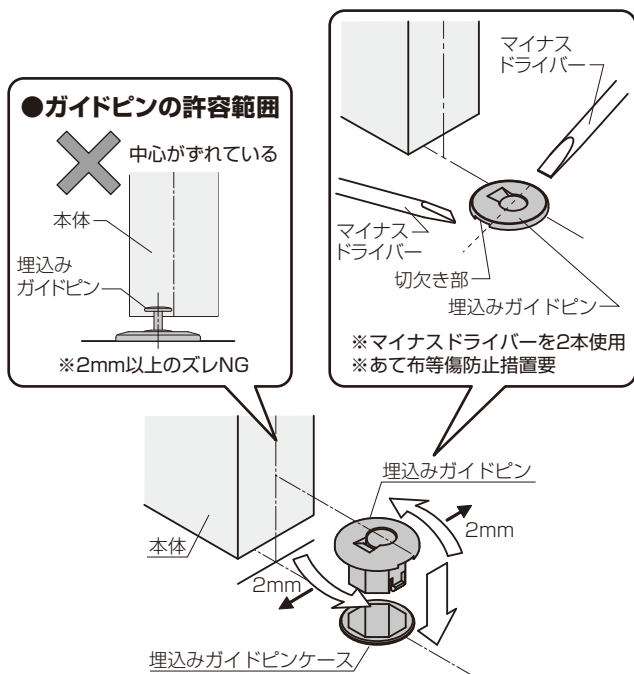
図枠側の調整について

埋め込みガイドピン調整時のお願い

- 床が損傷するので、作業前にあて布等の損傷防止措置を行ってください。
- ガイドピンが破損するので、必ずマイナスドライバー2本で外してください。
- 開閉時ガイドピンから本体が外れるので、本体中心からズレは±2mm以内に調整してください。
- 作動不良になるので、ガイドピン本体内のゴミは必ず取除いてください。

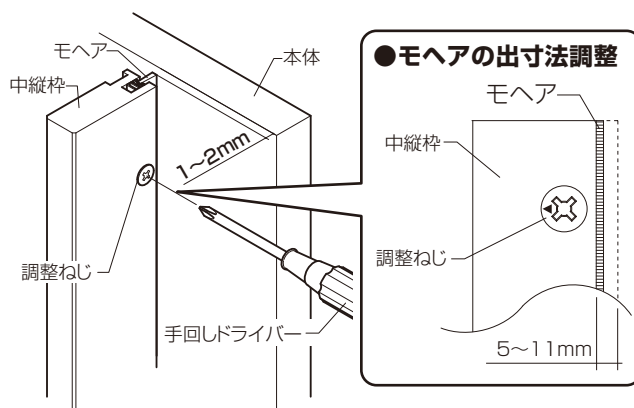
●埋込みガイドピンの調整(調整幅4mm)

- ①ガイドピンにある切欠きにそれぞれマイナスドライバーを入れて外してください。
- ②本体を静止させて、ガイドピンを回して本体とのズレを2mm以下にしてください。
- ③調整が完了したら、カチッと音がするまでガイドピンを最後まで入れてください。



●中縦枠のモヘア出寸法調整(5mm⇔11mm)

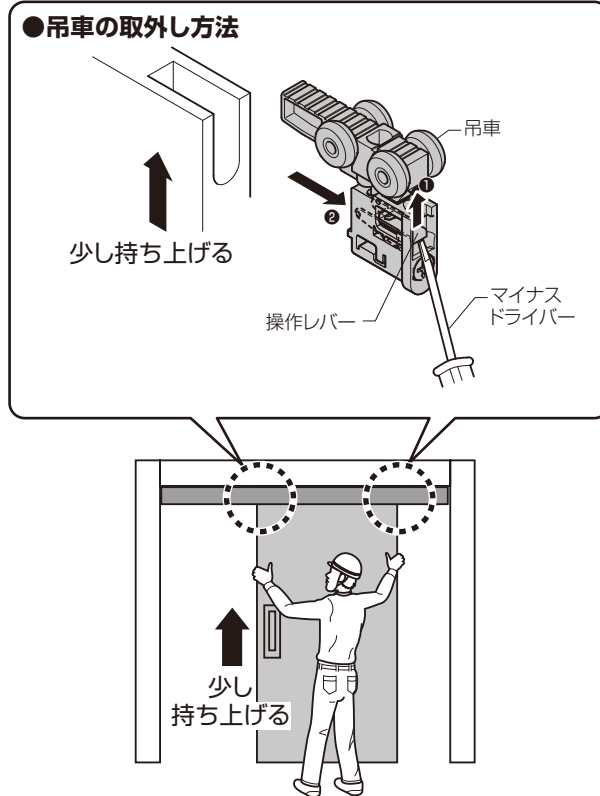
- ・3ヶ所の調整ねじを回すことで、モヘアの出寸法を調整することができます。
- ・本体の開閉が重くなるので、1~2mmのクリアランスを持たせてください。



図本体・引手の取外し方法

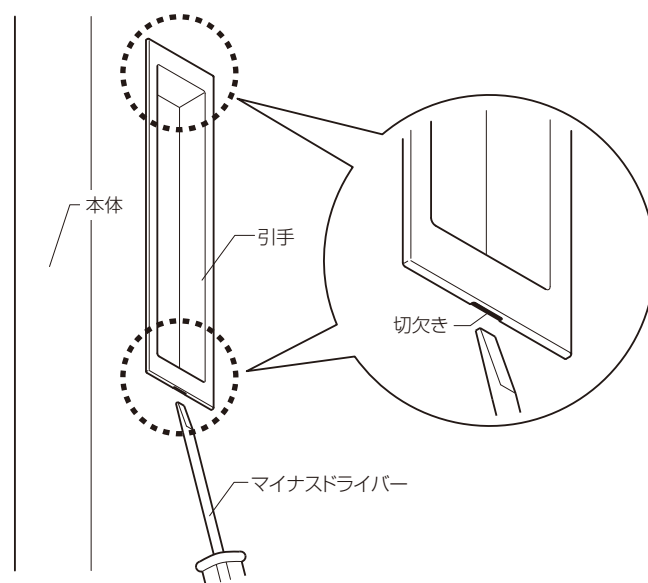
●本体の取外し方法

- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重をかからないようにしてください。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜いてください。



●引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切欠きに入れて外してください。



14 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、
メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。

●スマホ画面

○お客さまサポート

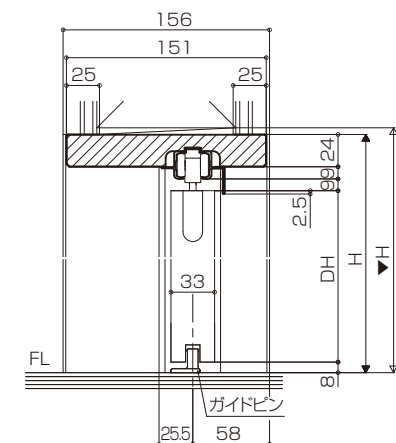
- ▲ 安全にお使いいただくために (+)
- ? よくあるお問い合わせ (+)
- 🔧 お手入れ・お掃除 (+)
- 📖 取扱説明 (+)
- 🔧 調整方法 (+)
- ⚠️ 故障かなと思ったら (+)
- 🔧 施工説明 (+)
- 🛒 部品購入 (2)
- 📞 お問い合わせ (+)
- 🔧 修理のご依頼 (2)
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 (2)

■納まり図

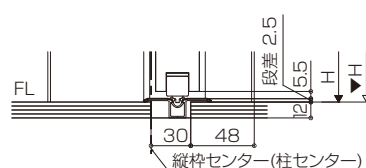
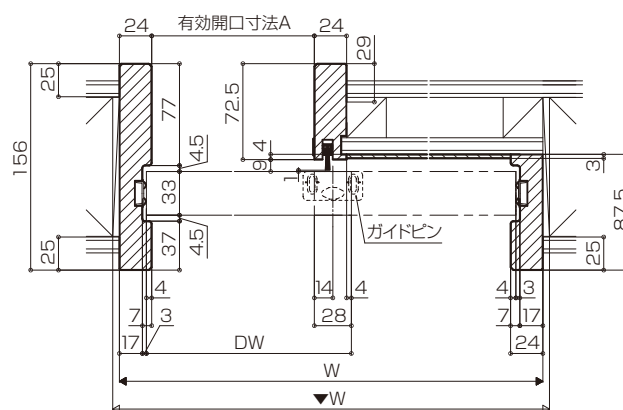
■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図

●横断面図

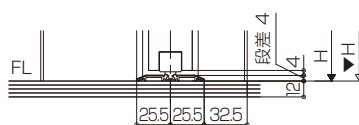


・ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、ガイドピンは使用しません。



・フラットレール使用

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	784

算出式: A 寸法 = (W-76)/2

DW = (W-12)/2

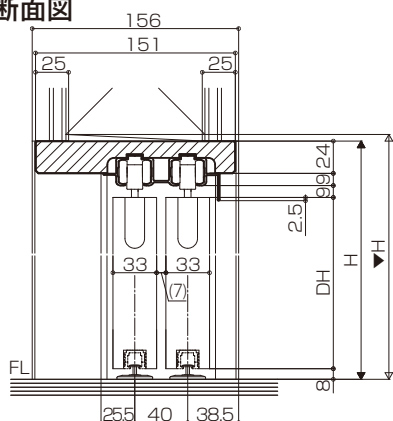
両側バーハンドル取付け時

算出式: A 寸法 = (W-76)/2-92

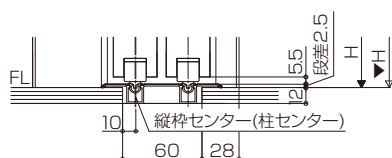
※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸2枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



・埋込ガイドピン使用



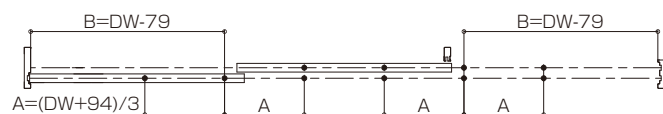
• 埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。



・フラットレール使用

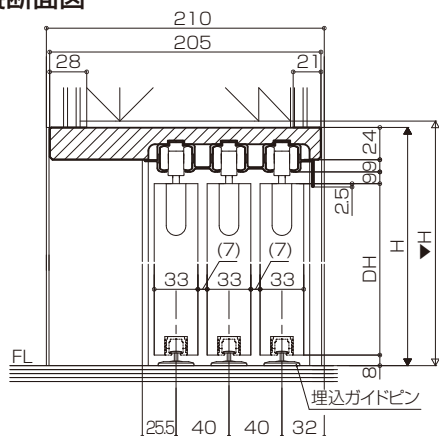
●埋め込みガイドピン配置図



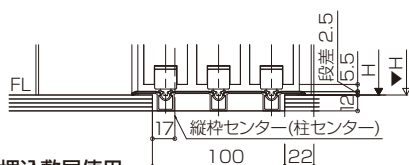
名称	DW	A	B
片引戸2枚建	816	303	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸3枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



・埋込ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

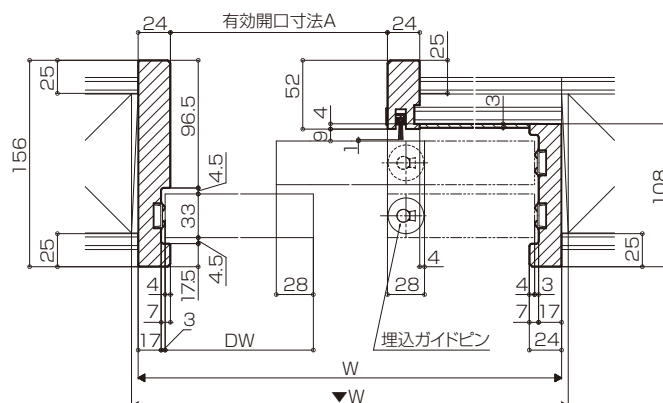


- ・フラットレール使用

●埋め込みガイドピン配置図



●横断面図



有効開口寸法

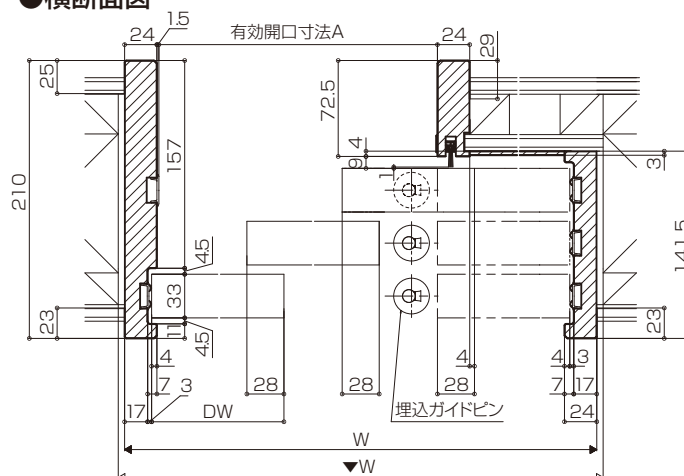
W呼称(棒外寸法)	A寸法
W24(2432)	1572

算出式：A 寸法 $= (2W - 148) / 3$

$$DW=(W+16)/3$$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(棒外寸法)	A寸法
W32(3220)	2358.5

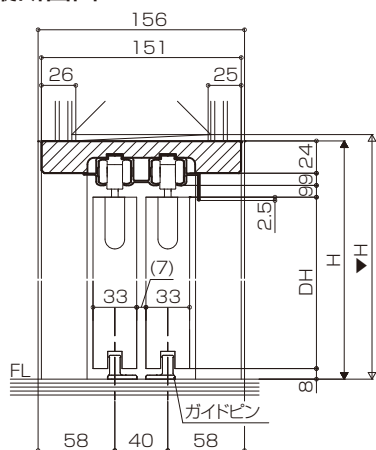
算出式：A 寸法 $= (3W - 226) / 4$

$$DW=(W+44)/4$$

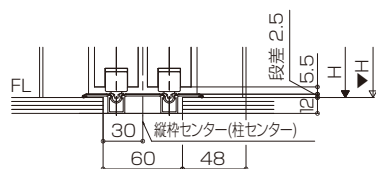
※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸2枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



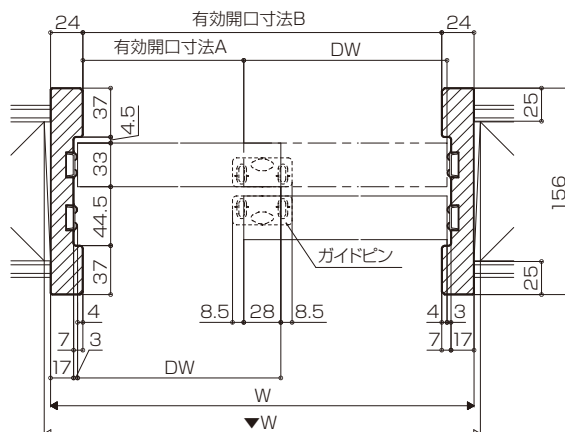
- ・ガイドピン使用



·埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、ガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(棒外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	784	1596

算出式：A 寸法 $= (W - 76) / 2$

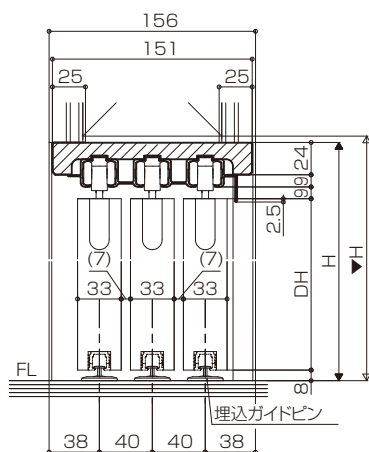
B 寸法=W-48

$$DW = (W - 12) / 2$$

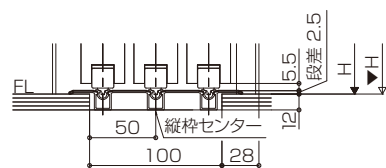
※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸 3枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



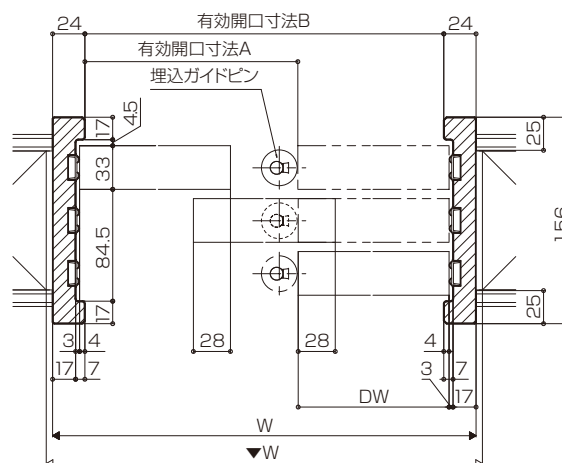
- ・埋込ガイドピン使用



• 埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(棒外寸法)	A寸法	B寸法
W24(2432)	1572	2384

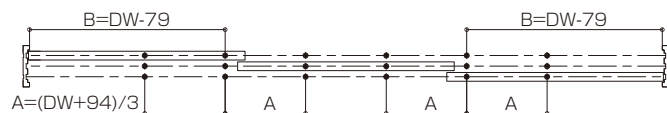
算出式：A 寸法 = $(2W - 148) / 3$

B 寸法 = W - 48

$$DW = (W + 16) / 3$$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

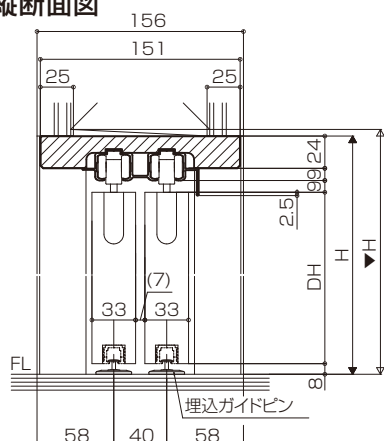
●埋め込みガイドピン配置図



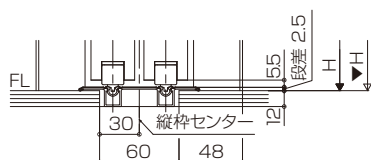
名称	DW	A	B
引違戸3枚建	816	303	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸4枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



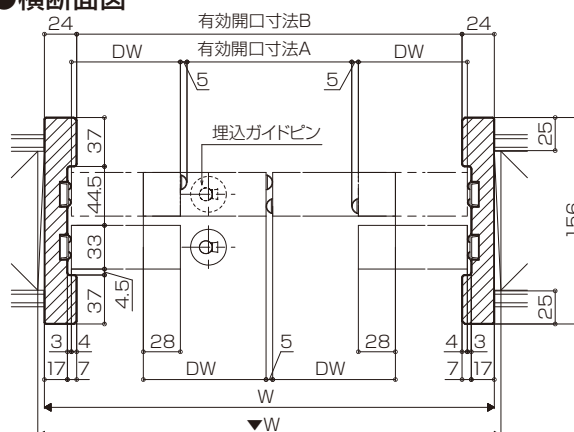
・埋込ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(棒外寸法)	A寸法	B寸法
W32(3253)	1571	3205

算出式：A 寸法=(W-111)/2

B 寸法 = W - 48

$$DW = (W + 11) / 4$$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

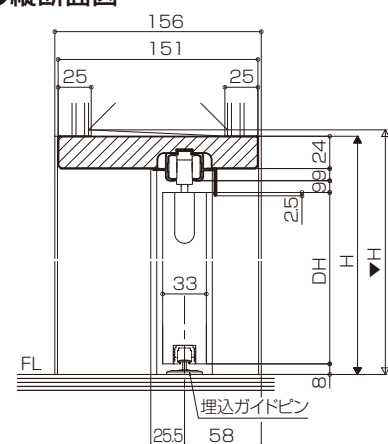
●埋め込みガイドピン配置図



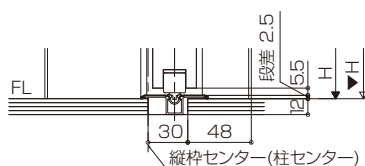
名称	DW	A	B
引違戸4枚建	816	303	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 引分け戸ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



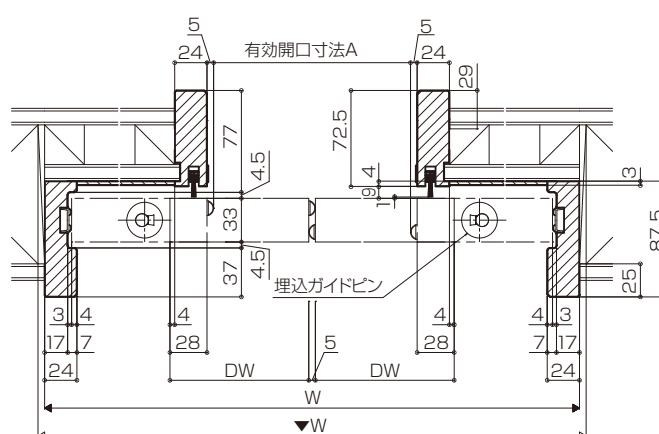
・埋込ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

●横断面図



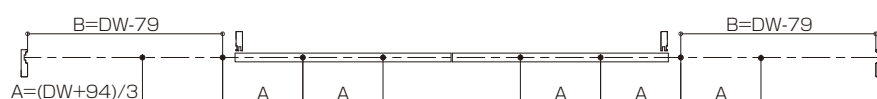
有効開口寸法

W呼称(杵外寸法)	A寸法
W32(325.3)	1571

算出式：A 寸法 $= (W - 111) / 2$

$$DW = (W + 1) / 4$$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。



名称	DW	A	B
引分戸	816	303	737

MEMO

MEMO
